

社会資本整備審議会 道路分科会 令和3年度 第2回中国地方小委員会  
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

令和3年11月29日（月） 14：30～16：00

2. 場 所

中国地方整備局 広島合同庁舎 2号館 6階共用 7号会議室

3. 出席者

<委員>

◎<sup>わたなべ</sup>渡邊 <sup>かずなり</sup>一成 福山市立大学 都市経営学部 教授

<sup>いいの</sup>飯野 <sup>きみお</sup>公央 島根大学 法文学部 教授

<sup>たにくち</sup>谷口 <sup>まさひこ</sup>雅彦 中国経済連合会 専務理事

<sup>たにもと</sup>谷本 <sup>けいし</sup>圭志 鳥取大学 工学部 教授

<sup>ふくだ</sup>福田 <sup>きょうこ</sup>京子 地域づくりネットワーク 代表

<sup>やまだ</sup>山田 <sup>ともこ</sup>知子 比治山大学 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教授

敬称略、◎委員長

4. 議 題

計画段階評価について

- ・山陰道(<sup>みすみ</sup>三隅～<sup>ながと</sup>長門)

5. 結論

- ・山陰道(三隅～長門)について、複数の対策案及び意見聴取を進めることを了承する。

## 6. 委員からの主な意見

- ・人口減少・高齢化社会が進んでいる中、整備に時間を要し道路が完成した時にはその地域に人が住んでいないという状況が生じることを懸念している。こういった事が起きないように、山陰道等の重要な道路の整備はスピード感を持って進めてほしい。
- ・当該地域は、九州も近く、多方面からの観光需要がある。例えば観光団体にもヒアリングを行う等、ヒアリング先には工夫を。
- ・アンケートの設問に記載のある「地域にとって望ましい」の「地域」という言葉について、定義によって回答が異なる可能性がある。「地域」の定義を明確にすること。
- ・中国地方小委員会としては、中間 IC を作るメリットについては大きいと理解。一方で、計画段階評価の検討は、2つのルート帯(案)を示し、意見聴取を行った上で対応方針を決定するプロセスとなっているため、アンケートの記載内容・表現については留意すること。